

国際文通週間 [90円 / 110円 / 130円郵便切手]

◎国際文通週間について

世界の人々が文通によって文化の交流に努め、世界平和に貢献しようという趣旨で、昭和32(1957)年の第14回万国郵便大会議において設定されました。日本では、そのキャンペーンの一環として、昭和33(1958)年以降、毎年、国際文通週間にちなんだ切手を発行しています。

◎デザイン

今回の「国際文通週間」は、歌川広重の「東海道五拾参次(保永堂版)」(平木浮世絵美術館所蔵)からデザインしています。

90円郵便切手には「保土ヶ谷」(神奈川県)、110円郵便切手には「荒井」(静岡県)、130円切手には「草津」(滋賀県)をデザインしています。

東海道五拾参次

江戸時代に江戸(日本橋)から京都(三条大橋)を結んだ東海道に置かれた53の宿場です。

歌川広重

歌川広重(1797~1858)は江戸後期の浮世絵師で、安藤広重とも呼ばれています。15歳の時に歌川豊広に入門して浮世絵界に入りました。その後、狩野派、南画等を学び、独自の画趣を確立しました。

東海道五拾参次の作品は遠近法が使われ、立体的に描かれています。

◎国際文通週間 特殊通信日付印

使用局:

- (A) 定例局
- (B) 札幌、仙台、横浜、東京、長野、名古屋、大阪、岡山、福岡の各中央郵便局

使用日:

平成19年9月28日(金)のみ



(A) 手押し用



(B) 記念押印機用

International Letter-Writing Week  
国際文通週間切手

発行日:平成19(2007)年9月28日(金)



<http://www.kitte-design.net/>

国際文通週間切手

90円 / 110円 / 130円郵便切手  
International Letter-Writing Week



[1]



[2]



[3]

種類:

[1] 90円郵便切手 / [2] 110円郵便切手 / [3] 130円郵便切手  
※1シート10枚 / 1枚から販売します。

意匠:

うたがわひろしげ とうかいどう ごじゅうさんづぎのうち  
歌川広重画 東海道五拾参次之内

ほとけがや ありい くさつ  
[1] 保土ヶ谷(神奈川) [2] 荒井(静岡) [3] 草津(滋賀)

発行日:

平成19(2007)年9月28日(金)

印面・小切れ寸法:

縦33.0mm × 横45.0mm

シート寸法:

縦93.5mm × 横250.0mm

版式刷色:

オフセット5色

デザイン:

玉木 明(切手デザイナー)